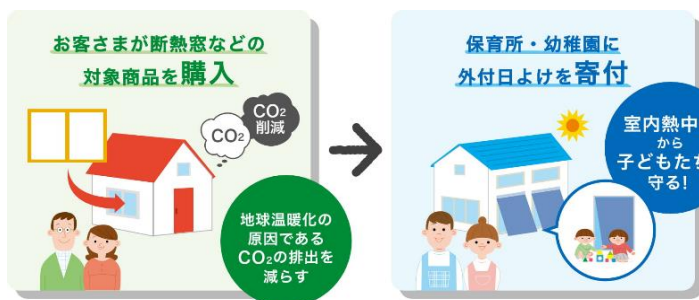


LIXIL「窓から ECO シェアプロジェクト」について

「窓から ECO シェアプロジェクト」は、温室効果ガスの排出削減を行う“気候変動の緩和”につながる断熱窓などのエコ商品を広く普及させながら、気候変動の影響による被害の回避・軽減を考える“気候変動の適応”策として子どもたちの室内熱中症予防を推進する、“気候変動の緩和と適応”策両面を啓発・推進する活動です。2019年から活動をスタートし、今年で5年目となります。

*LIXIL「窓から ECO シェアプロジェクト」HP：<https://www.lixil.co.jp/minnadesmileecopj/thinkheat/madoeco/>



プロジェクトの仕組み（左：緩和策、右：適応策）



過去実施の寄付施設の様子

具体的には、住宅の新築・リフォームの際に断熱性能の高い窓やドアをご採用いただくことで冷暖房のエネルギー消費が抑えられてCO₂排出量を削減できます（=気候変動の緩和策）。さらにその売り上げの一部で、室内熱中症から子どもたちを守るために保育所・幼稚園などに外付け日よけ「スタイルシェード」を寄付・設置（=気候変動の適応策）します。[#SDGs13：気候変動に具体的な対策を](#)
お客さま、地方自治体、ビジネスパートナー、LIXILの参加者全員が、社会課題の取り組みを推進し、持続可能な社会の実現をめざして取り組んでいます。[#SDGs17：パートナーシップで目標を達成しよう](#)

●2022～2023年の活動（予定）

対象期間：2022年10月～2023年3月（プロジェクト期間）

対象地域：茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県、山梨県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

寄付施設：計16施設にスタイルシェードを寄付し、各施設で贈呈式を行います。

CO₂削減貢献量：計6,796トン

●外付け日よけ「スタイルシェード」について

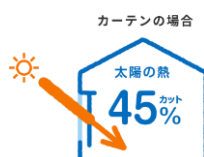
窓から侵入する太陽の熱を約83%※¹カット

夏場、室内に入ってくる熱の約7割は窓などの開口部からです。カーテンやブラインドは、室内で日差しをカットするため室内まで熱が入ってきて、そのままこもってしまいます。一方室外で日差しをカットする外付け日よけ「スタイルシェード」は太陽の熱を窓の外側でカットすることで、室内の温度をダウンします。室内温度の上昇を抑えれば、室内熱中症対策だけでなく、夏の節電にもつながります。

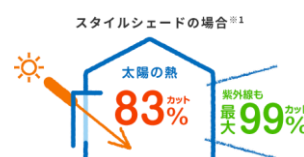
※1 一般複層ガラスの窓にスタイルシェードを使用した場合の性能です。関連JISなどに基づき計測および算出した値であり、保証値ではありません。



室内で日差しをカット



室外で日差しをカット



<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 LIXIL 広報 齋藤 (070-3189-2293)・海老原 (070-5024-6835)